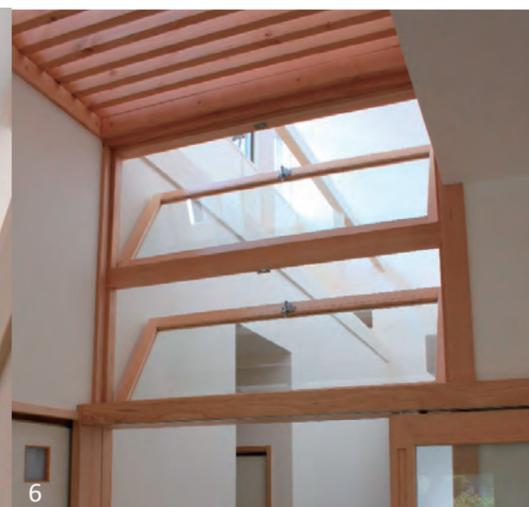


一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会会長賞【住宅リフォーム部門】

リフォーム前後の写真



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

施主の先代が建てたこの住宅は、子の結婚・自立をきっかけに2人で暮らし易く、耐震・防音化することが始めの要望であった。

- 耐震性能 不必要となる2階を撤去し、屋根を鋼板に葺き替えて軽量化
- 防音性能 断熱性能の向上と併せて全てサッシを交換
- 採光環境 昼間でも明かりをつけていた室内の居住性を向上させるため、2階撤去と同時にその一部を吹抜けとした。

吹抜けの天井は屋根勾配から曲がって壁へ連続し、北側に配置され

たハイサイドライトからの柔らかい自然光は1階中央の廊下へ届く。居間や台所の小割にされた部屋を一つにまとめ、明るく見通しのよい部屋を創った。

- 温熱環境 廊下吹抜けのハイサイドライトの一部を開閉させ、煙突効果により他の部屋の換気を促すことができる。

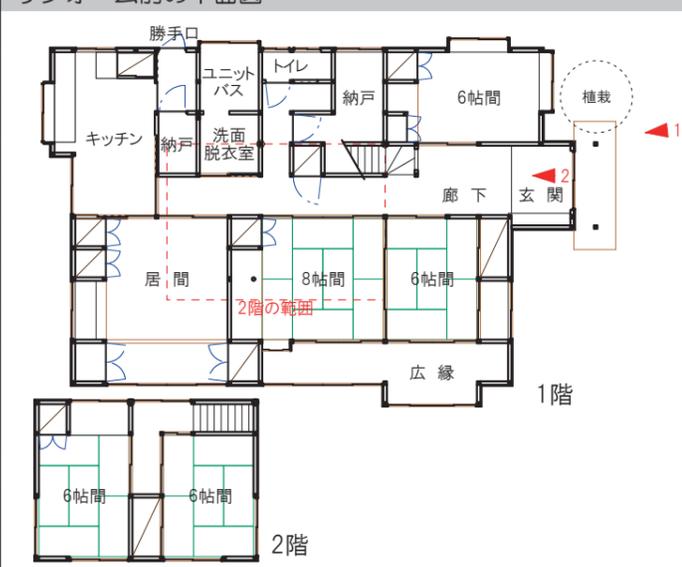
また、既存壁が熱容量の多い土壁であった事を利用し、調湿と蓄熱を土壁に、断熱を外張り断熱材に役割分担させた。最初の要望以上に光や風環境まで改善し施主の満足度はとても高い。

性能向上の特性 要望の耐震性能と防音環境から始まり提案として温熱環境と光環境を重要視した

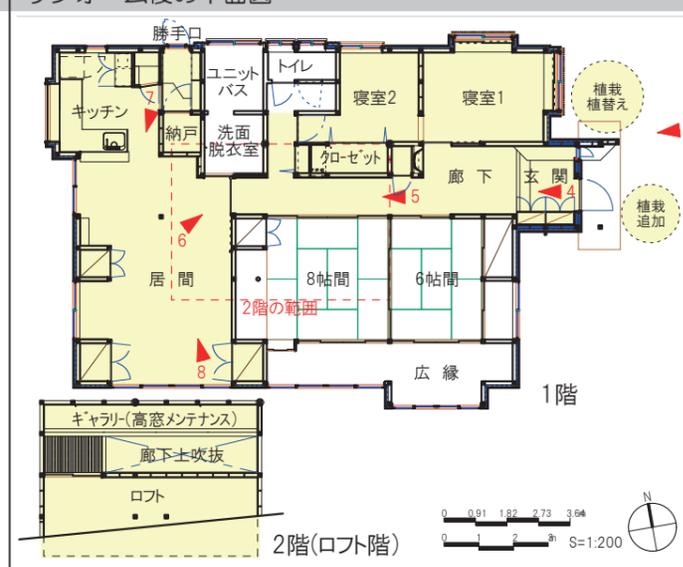
特に配慮した事項 リフォーム後の耐震性能は一般診断法で評点 1.0 である。断熱性能は既存の土壁に外張り断熱と通気工法、屋根は充填 + 外張り断熱に通気工法とし、次世代省エネ基準を満たす。

データ	
所在地	長野県松本市
新築竣工年	1970 年
築後年数	48 年
施工期間	180 日間
該当工事床面積	105.05 m ² / 総工事床面積 105.05 m ²
該当部分工事費	2400 万円 / 総工事費 2400 万円
居住者構成	65 歳以上：2人 / 15～64 歳：0人 / 15 歳未満：0人

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ □浴室/ □便所/ □洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ ■エタリア/ □マツヨリ共用部分/ ■その他

■ 講 評

子どもの独立で夫婦二人の生活になり、48年前に先代が建てて耐震性が気になっていた家を、地域の人や親族の集まる思い入れのある座敷や外観の風情は残しながら減築リフォームした例である。

施主がリフォームを考えた時、友人の建築士に相談し、その縁を通じて設計者と巡り会った。設計者は以前、近くに住んでいたこともあり顔見知りであったそうだ。生活や環境を把握しやすかったことは双方に良い点として生き、暮らし方に合わせた住まいが再構築された。

当初のリフォームへの要望は「耐震性能と防音性の向上」であった。古い建物の安全性と、大勢での集まりが多いため近隣への配慮である。他には強い要望は無かったようだが、これからの生活に何か必要かを設計者が巧みに引き出している。具体的には、加齢により二階の利用が困難になることを想定して妻の就寝を一階に移動させ、寝室は夫婦それぞれのスペースを確保しながらも、体調変化時に互いの気配を感じられるようにしている。風呂やトイレにも近く安心したつくりで施主も喜んでいて。また以前のくつろぎの形は床座だったが、明るいダイニングを作り、夫婦の身体寸法に合った二人用のダイニングセットを木工房に手作りしてもらっている。キッチンとのつながりもよく利便性が向上したことだろう。

そして最大の特徴であるハイサイドライトは、二階を撤去して作り

直している。直下の中廊下とそこに続く居間を光でつなぐことで昼間でも暗かった不具合が解消され、将来は既存の座敷との仕切りを障子などに変えれば更に明るくできることも想定している。仕切りの一部は開閉可能で、夏場は風が吹き抜けてとても快適だそうだ。二階の撤去に伴い屋根瓦を銅板に葺き替えることで軽量化し、家全体として外壁は外張り断熱と高性能サッシへの交換で冬場は-10℃にもなる寒さを防ぎ、外部への防音対策にもなった。天井裏や床下で中に入れる部分はすべて点検を行い、基礎は配筋検査で問題がないことも確認し、施主の要望が叶うこととなった。

住みながらの工事には様々な配慮があったようだが、既存部分との取り合いにはデザイン的にも随所に工夫がみられる。外観は地域の民家の特徴を踏襲しつつ、屋根のプロポーションや窓形状を調整して現代的な和風デザインに昇華させ、建て替えやリフォームが進んでいる周辺の街並みにも良く馴染んでいた。内装も玄関ポーチの柱を削りなおした再利用や、ニッチや吹き抜け上部の曲線など巧みな工夫が施され上質なデザインにまとめられている。

コストを抑えながらもデザインと性能を両立した丁寧なつくりが高く評価され、一般社団法人住宅リフォーム推進協議会会長賞にふさわしい優れた作品である。